



ヘルスケアデバイスを用いたドライバーサポート技術

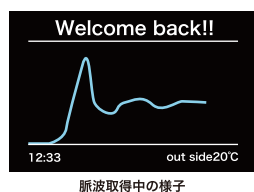
ウェアラブルデバイスを活用しドライバーのヘルスケア情報を収集、クラウド上に蓄積。蓄積されたデータを基に分析し、健康状態の警告をフィードバックします。
健康トラブルによる交通事故を減らすためのシステムです。

- 1 自動車と同期中のウェアラブルデバイスから心拍情報を収集
- 2 ヘルスケアビッグデータの機械学習により情報解析を行う
- 3 警告をドライバーにフィードバック
異常値検出で自動運転に切り替え可能に



クラウドアドバイザーの特徴

スタートボタンに脈波センサーを搭載。エンジン始動時に情報解析を行い、正常値でない場合にはエンジンが始動しません。



脈波取得中の様子



スタートボタンに搭載された脈波センサー

ドライブ中はストレスや興奮、疲労状態をセンサーから取得し、運転者に休憩を促します。



異常値検出時は自動運転モードへの切替が可能に。さらに異常値の検出をハザードの点灯などで周囲の車に知らせ、家族・主治医にも通知します。

